NIE実践報告

1．タイトル：☆社会的事象の関連を探り、考えをまとめる力が育つ社会科学習

2．学校名

愛知県名古屋市立富田中学校

3．実践者名（代表者名）

牛島康太郎

4．学年

中学3年生

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

社会　165人

6．単元（本時の学習課題）名

「人権と共生社会」（赤ちゃんポストの制度に賛成か反対か）

7．目標（狙い）

社会における人権問題の実態を新聞記事からとらえ、個人と社会とのかかわりを考えながら共に生きていける社会を実現しようとする態度を高める。

8．評価の視点

赤ちゃんポストの制度ができた背景や要因、結果や影響をまとめた「自作のテキスト」を活用しながら立場討論を行い、その後、各自で自作の新聞「人権新聞」を作成することができるか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数

（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「人権と共生社会」（教科書教材：東京書籍）［社会：7時間］　合計7時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①赤ちゃんポストの制度ができた背景や要因、結果や影響などを新聞から調べ、学習問題「赤ちゃんポストの制度に賛成か反対か」について考える。（2時間）
②切り取った新聞記事を画用紙へ載せてまとめた「自作のテキスト」を作成し、なぜ賛成や反対の立場としたのか理由も含めて明確にする。（2時間）
③学習問題に対してまとめた「自作のテキスト」を活用しながら小グループで立場討論を行う。その後、学級全体で話し合い、様々な立場や視点から自分の意見を見直す。（1時間）
④考えを整理してまとめた自作の新聞「人権新聞」づくりを行い、完成した「人権新聞」を互いに読み合う。（2時間）

（留意点）
・「自作のテキスト」を作成する時は、赤ちゃんポストができた背景や要因、結果や影響の新聞記事を画用紙へ載せ、自分の結論を必ず書かせる。
・自作の新聞「人権新聞」は、新聞記事で新聞をつくるイメージをもたせる。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

立場討論では、切り抜いた新聞記事を活用しながら説得力のある発言をしていた。また、自作の新聞「人権新聞」では、個人と社会とのかかわりを考えながら共に生きていける社会を実現しようとする意見が書かれた。

12．成果と課題

新聞記事を活用したことで、赤ちゃんポストの制度ができた背景や要因、結果や影響を理解することができただけでなく、様々な立場から討論することができた。また、自作の新聞「人権新聞」は、どのように新聞が構成されているのか新聞をよく見るようになった。